



田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会広報誌・平成 26 年 5 月号

# 猿ヶ石川通信

## Vol.7

- 第 1 面 トピックス 第 2 回田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会開催
- 第 2 面 ニュースファイル 60 周年記念砥森山山開き、猿ヶ石川再生プロジェクト
- 第 3 面 インタビュー 電源開発株(東和電力)所長：新国雅之さん、野鳥コーナー
- 第 4 面 インフォメーション マイリバー猿ヶ石、田瀬湖ウォータースポーツフェスティバル、他

### 猿ヶ石川流域トピックス



子供達の太鼓が田瀬湖に響き渡った。

当日は天気にも恵まれたこともあり、参加者は昨年を大幅に上回る 204 名が参加。イベントのオープニングは、地元田瀬地域で

昨年引き続き、第 2 回田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会が、4 月 27 日(日)東和 B & G 海洋センターを中心とした田瀬湖周辺にて開催されました。

清流田瀬子供太鼓がオープニングを飾る

田瀬ダム完成 60 周年記念プロジェクト第一弾  
**第 2 回 田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会**  
 猿ヶ石川流域を中心とした市民 204 名が集い  
 約 3・2 トンの田瀬湖のゴミを拾った

長年継続して取り組まれている「清流田瀬子供太鼓」の演奏。快晴に恵まれた青空と、田瀬湖いっぱい太鼓の音が響き渡りました。

#### 4 班に分かれ「ゴミ拾い」を始めた

開会行事を終えると、いよいよ清掃活動の開始。田瀬湖東岸の向田瀬地区から田瀬ダム堰堤方面に、徒歩や車で移動。昨年拾った場所より更に先の、ごみが多く散乱している場所へ向いました。途中の道沿いでは、カタクリが可憐な花を咲かせていました。

清掃活動は 4 つの班に分かれ行いましたが、人数が多いこともあり、あつという間にゴミが回収されました。この日拾ったゴミ



清掃活動を終えた参加者は、回収したゴミと一緒に記念撮影。そして、い

の量は、可燃ゴミ 2640 kg、不燃ゴミ 640 kg。合計で 3280 kg と、昨年の倍以上の量のゴミを拾うことができました。

#### 「ゴミ拾い」の後は川柳づくり

川柳の選考が終わり、いよいよ入賞者の発表が行われる閉会式。田瀬地区の青年達による「田瀬激流太鼓」が勇壮な太鼓を披露し、会場の雰囲気は最高潮に盛り上がりました。そして、いよいよ川柳入賞者の発表。今年は、12 の協賛団体からの賞品が授与されました。(入賞作品は 2 面に掲載。)閉会後は、今年も田瀬のお母さん達がつくった豚汁が振る舞われ、ゴミ拾いの疲れを癒してくれました。

今年も、花巻川柳会の方々に選考をいただいている間、田瀬ダムの役割や田瀬湖の水質について、田瀬ダム管理支所長の横野氏がパネルを使って説明。参加者は改めてダムのことを考える一時となりました。

いよ川柳大会。受付で、川柳を書く用紙を受け取り、それぞれがゴミ拾いで感じた想いを句にしました。

午後からは、カヌーやボートの体験教室。多くの親子連れが、オールを手に楽しい時間を過ごしました。

## 猿ヶ石川流域ニュースファイル

### 【第2回ごみ川柳大会入賞作品】

- ・ゴミのないスッピンがいい 田瀬湖畔
- ・ごみひろい水辺におどるたいこの音
- ・ゴミひろい今日も歩いた一万歩
- ・ごみ川柳つくらずすむ日いつくるの
- ・ゴミすてるわたしがひろうたいへんだ
- ・ゴミ川柳拾いつかれて句が出ない
- ・ゴミひとつ捨てるで変わる町
- ・行き帰り景色が変わるゴミひろい
- ・田瀬ダムのゴミを拾っておなか減る
- ・ゴミ拾い親から子へと引き継がれ
- ・ごみ拾い捨てる気持ちかわからない
- ・ごみひろいおえたら田瀬湖笑ったよ

### 田瀬・宮守・鱒沢地区 砥森山合同山開き

5月5日(月・祝)、田瀬・宮守地区にまたがる霊峰 砥森山の合同山開きが



山頂を目指す参加者。

行われ、47名の参加者が砥森山登山を楽しみました。

この山開きは、田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会の田瀬ダム完成60周年記念プロジェクト第2弾として開催したもので、田瀬・宮守・鱒沢地区民の代表者や砥森神社関係者等で山開き実行委員会を発足し、登山道整備等の準備を進めてきました。

当日の登山は、田瀬と宮守の2つの登山口から登山。宮守口からの参加者は、午前9時30分に遠野市宮守総合支所に集合し、送迎バスに乗って登山口へ向かいました。



山開き参加者の記念撮影。

は、準備体操をしてからいよいよ登山開始。標高670メートルの砥森山

山頂を目指しました。登山道を進むと、道端にはカタクリの群落が見えてきます。途中2度ほど休憩をして、1時間ほどで山頂に全員無事に着きました。

間もなくすると、田瀬登山口からの参加者達も山頂に到着。その後、山頂にある石の祠の前にて、山開きを記念した安全祈願の神事が行われました。

神事が終わると、山頂近くの昔小屋が建っていた場所へ移動。記念交流会として、挨拶や御神酒の乾杯が行われ、また、宮守町の



砥森山山頂神事。

鱒沢神楽保存会が、権現舞を奉納しました。



鱒沢神楽が権現舞を奉納。

### 猿ヶ石川再生に向けたプロジェクト始まる

平成26年度の田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会の主要事業の一つとなっている「猿ヶ石川再生プロジェクト」の準備が進んでいます。



砂の堆積が進む猿ヶ石川上流部。

この事業は、田瀬ダムの上流部となる遠野市側の

猿ヶ石川において、砂が堆積し魚が減少している等になったことから、自然豊かな猿ヶ石川を再生することを目的としています。

この事業を進めるためには、専門家の適切な指導が必要となるため、推進協議会事務局では、岩手県立大学の鈴木正貴氏に助言をいただきました。

鈴木先生は、本当に魚が減っているのかは、科学的なデータがないと判断できず、対策の立てようがないため、地域の人自らが地道に調査することの必要性を話されました。

そこで、猿ヶ石川再生について関心の高い方々を募り、プロジェクトを立ち上げるようになりました。また、このプロジェクトに必要な経費につきまして、現在、岩手県立大学地域政策研究センターの地域提案型地域協働研究に申請中です。この申請が通ると、セミナー等の謝金や調査器具代金として使用できます。このプロジェクトに興味ある方は、事務局までお問い合わせ下さい。

# 猿ヶ石川流域インタビュー



## 電 源 開 発 (株) 東 和 電 力 所 所 長

新国 雅之(につくに まさゆき)さん

昭和 34 年福島県只見町に生まれる。茅ヶ崎市の電発工業高等学園を卒業後、昭和 53 年電源開発株式会社に入社。初任地は現在と同じ東和電力所。その後、静岡、新潟、福島などを転勤し、平成 24 年 7 月より東和電力所に 3 度目の勤務。学生時代(中 3、高 1)SL に魅せられ北海道へ遠征。入社後 10 年ほどモータースポーツに親しみ、現在は鮎釣りが趣味。現在、田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会顧問を務める。

### 東和が第2の故郷といえます

私が生まれ育った福島県の只見川水系にも発電所がありまして、そういった縁から現在の会社に入社しました。全国的に、発電所がある地域から入る人が多くあるんです。

初任地が実は東和で、今回の赴任が3度目になります。今年の7月になると、トータルで10年ですから、第2の故郷といった感じだと思います。

最初に東和に来たのは、今から35年以上も前になります。当時は、社員が結構いて野球チームを作っていたりして参加したりしていました。今でも風景とかは当時の面影を多く残しています。仕事を取り巻く環境は大きく変化し、厳しくなっていると感じます。

### 東和発電所では電気の地産地消が

東和発電所が運用開始したのは昭和29年の12月

で、田瀬ダムと一緒に、今年で60年を迎えます。現在電源開発(株)で稼働している中では、最も古い発電所となっています。

今年の11月8日(土)には、東和発電所の運用開始60年を記念して、「ふれあいコンサート」を東和総合福祉センターにて予定しています。当日は、記念写真の展示も考えていますので、ぜひ多くの方に来ていただきたいと思っています。

東和発電所の特徴としては、東北電力(株)の配電系統を介して、東和町、宮守町、遠野市に直接電気を供給していることがあります。その意味では、地域に密着している発電所であり、正に「電気の地産地消」がここで行われていると言えます。

見学者を案内している時に「東和発電所は、何世帯分の電気を発電しているのですか。」とよく聞かれます。発電所の出力は、田瀬ダムの水位によって変化しますし、各家庭の電気の使用量も季節や時間帯によって大きく変化するので正確に計算するこ

とは難しいのですが、「各家庭の電気使用量を3キロワットとすると最大で9000世帯分の電気を賄うことができる。」と説明しています。

### 発電注意放送が流れたら

東和発電所では、これまでもボート下り大会やイギリス海岸出現等のイベ

ントに合わせて、流量調整の協力をしてきています。しかし通常は、電気の使い方に合わせて発電をするため、電気の消費が増える時には、放流量が増えて川が増水します。これから夏場にかけて、水遊びをする季節となりますが、水位上昇を知らせる放送がありましたら、その際は十分に注意して頂きたいと思っています。



自然ウォッチング  
.....  
猿ヶ石川の野鳥  
File No. 7

ダイサギ(サギ科 全長:90cm)

シラサギ類の一種で、猿ヶ石川の川岸をゆっくり歩いたり、じっとたずんでいるのを見かけた方も多いことでしょう。自分の近くに小魚などの獲物が来るのを待っていて、首を伸ばしてすばやく捕まえる“待ち伏せ型”です。田や池でも1年中見かけます。嘴は冬の間は黄色ですが夏になると黒くなります。(写真提供:とうわ野鳥の会)

## 猿ヶ石川流域インフォメーション

8/2~3

### 田瀬湖で爽やかな汗を流そう！ 田瀬湖ウォータースポーツ フェスティバル

毎年、田瀬湖湖水まつりの一環として行われているイベント。今年は田瀬ダム完成 60 周年を記念して、パワーアップ。8 月 2 日は、カヌーやボートの無料体験や田瀬湖の遊覧ができます。また、3 日はメインイベントとなる E ボートレース大会。こちらも 60 周年を記念して、例年以上に盛り上がりを見せそう。入賞者には、豪華賞品も。更に、3 日には、フリーマーケットや出店コーナーも予定されています。今年の夏は、田瀬湖が熱いぞ！



【日時】平成 26 年 8 月 2 日(土)～3 日(日)  
【会場】東和 B&G 海洋センター (Tel 0198-44-5336)  
【参加費】E ボートレース＝1 チーム 10,000 円(1 人 1,000 円)  
\* E ボートレースは 7 月 18 日までに事前申込が必要。  
\* その他の体験は参加費無料、事前申込は不用。  
【持ち物】昼食、飲み物、濡れてもいい服装(T シャツ、短パン、サンダル、帽子)、着替え  
【内容】  
8 月 2 日: カヌー、ボート体験教室: 午前 9 時～午後 4 時  
8 月 3 日: E ボートレース(10 人 1 組): 午前 9 時～午後 2 時  
【E ボートレース申込、問合せ】  
花巻市スポーツ振興課 ☎ 0198-62-2111 (内線 292)

7/26~27

親子で 1 泊 2 日の夏の思い出を！

第 2 回

### マイリバー猿ヶ石 in 田瀬湖

このイベントは、体験を通じて猿ヶ石川やその周辺地域の自然環境について、楽しみながら学ぶことを目的として昨年より始まりました。

今年は田瀬ダム完成 60 周年を記念して、猿ヶ石川の恵みの一つである田瀬湖を中心に、様々な体験ができる 1 泊 2 日のプログラムが予定されています。また、これまで行われてきた「田瀬ダム森林探検隊」の内容も、このイベントに取り込まれ、60 年を迎えた田瀬ダムの見学や東和発電所の見学も予定されています。この他に、岩手南部森林管理署の森林インストラクターの指導で、間伐等の森林整備や、田瀬湖釣り公園での釣り、そして東和 B&G 海洋センターでのカヌーやボートの体験もできます。夜はテントに宿泊。7 月 27 日がちょうど新月となるため、夜は星空観察が楽しめそうです。ぜひ親子連れで、気軽にご参加下さいませ。



【日時】平成 26 年 7 月 26 日(土)～27 日(日)  
【集合】田瀬振興センター (Tel 0198-44-5281)  
【参加費】2,000 円(26 日の夕食、27 日の朝・昼食代含)  
【持ち物】初日の昼食、飲み物、山で作業できる服装、水着、着替え、雨具(カッパ)、筆記用具  
【内容】  
26 日: 森林体験(間伐、枝打ち、他) / 田瀬ダム & 東和発電所見学 / キャンプ体験 / 星空観察  
27 日: 釣り体験(田瀬湖釣り公園) / カヌー & ボート体験  
\* 雨天時も内容を一部変更して行います。  
【定員】20 名(親子 10 組)  
【申し込み】田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会事務局  
☎ & FAX 0198-64-2250(千葉)



昨年の参加者達の集合写真。

Q

川の右岸と左岸って  
どっち岸のことなの？

川 豆 辞 典

A

「〇〇川の右岸」と言いますが、その場合は、川の流れている方向に向いて、右側を右岸、左側を左岸と言います。つまり上流から下流に向い、右が右岸となります。猿ヶ石川の本流は東から西へ向って流れていますので、北側が右岸で南側が左岸となります。これは海外でも同様で、右岸を英語では the right bank と言います。また、川の堤防の内側、つまり川が流れている方を、川表(かわおもて)、堤防の外側を川裏(かわうら)と言います。

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会通信 Vol.7  
「猿ヶ石川通信」平成 26 年 5 月号  
発行日: 平成 26 年 5 月 30 日  
発行: 田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会  
☎ 028-0123 花巻市東和町田瀬 39-1-3  
☎ 0198-44-5211  
編集: 一般社団法人いわて流域ネットワーク  
問合せ: ☎ & FAX 0198-64-2250 (千葉)  
E-mail: pahaya@tonotv.com

切な夏の思い出づくりに、いらしてください。(千葉)

田瀬湖には、まだまだ魅力がたくさんあります。大

自然を楽しみませんか。

これからは、まだまだ魅力がたくさんあります。大

疲れさまでした。

これからは夏に向けて、さらに田瀬ダム完成 60 周年の記念イベントが続きます。これまで、田瀬湖で夏のレジャーを経験していない方も、この機会に田瀬湖の大

編集後記

今年の「田瀬湖一斉清掃

& ごみ川柳大会」は、予想を上回る大勢の参加者があり、天候にも恵まれて、ゴミ

もいっぱい拾えて、大成功だったと思います。参加い

ただいた皆さん、本当にお疲れさまでした。

これから夏に向けて、さらに田瀬ダム完成 60 周年の

記念イベントが続きます。これまで、田瀬湖で夏のレ

ジャーを経験していない方も、この機会に田瀬湖の大

自然を楽しみませんか。

田瀬湖には、まだまだ魅力がたくさんあります。大

切な夏の思い出づくりに、いらしてください。(千葉)